

2007年1月24日(水)

## 岩槻駅の設置 直下案を検討

### 地下7 延伸検討委

埼玉高速鉄道(SR)の浦和美園駅 東武野田線岩槻駅間の延伸課題を検討する検討委員会(高松良晴会長)が二十三日、都内で開かれ、延伸先の岩槻駅の在り方を論議した。会議は非公開だった。

事務局の県交通政策課によると、延伸駅の設置個所は、東武岩槻駅の東口、西口、直下の三案があるが、この日は東武野田線との乗り換え利便性が高い「直下案」を前提に議論が行われた。

連絡通路、改札位置、階段、エスカレーター、ホームの形状、東西自由連絡通路の設置などが検討された。

委員から、「東西自由通路の計画は、将来の駅周辺街づくりを見据えるべき」「東武鉄道側と定期的な会合が必要」といった意見が出たという。

検討委員会は延伸する上での課題を協議している。これまで東武野田線との相互直通運転の可否と運転方向(大宮方面か春日部方面か)、SR既設線での追い越し・快速運転の可能性などを検討した。

また、県交通政策課は二〇〇五年国政調査のデータを基に将来の沿線人口推計、需要予測のデータ更新をする考えを明らかにした。委員からは「活動的な高齢者が増えることを念頭にした需要予測を」との注文も出たという。